

外国人のひと 市民のための相談

窓口と電話の受付時間は午前10時から午後6時までです(火曜、祝日は休み)。

対象:日本語、英語、中国語(その他の言語は要予約)

電話: 日本語、英語 中国語(07983228680)、ハンガール、スペイン語、フランス語(07983228674)

Eメール: 日本語と英語 ホームページ(アドレスは<http://www.nishi.or.jp/~nia/>)の「相談事業コーナー」から書込みを

相談、情報提供など

外国人の皆さんからの生活相談などに対応しています。

外国人のひと 市民のための相談

ガイドブックやパンフレットを配布

同協会窓口で無料配布しているガイドブックなどは次のとおりです。

外国人市民向け相談ガイドブック(各国語版)

西宮の素顔と魅力(各国語版)

国際化と私たち(日本語版)

防災の手引き(各国語版)



外国人のための日本語講座

「日本語講座」を9月11日から11月27日までの木曜午後6時半から8時まで、同協会会議室で開催します(年に2回開催)。

初めて日本語を学ぶか、ほとんど話せない外国人市民を対象に、入門と初級の2コースで行います。定員は各15人。参加費各6000円。

各種講座を開催

国際交流・国際協力への理解を深める手掛かりとして、各種講座を開催しています。

「国際理解講座」

受講者を募集

市民の皆さんの国際理解を深めるための「国際理解講座」をシリーズで開催しています。会場は同協会会議室。今年度の基本テーマは「ボランティア」です。要参加費。

9月28日午後2時から開催する第1回(講師は元武庫川女子大学教授・宗正直さん)の受講者を募集しています。申込・問合せは西宮市国際交流協会(07983228680)へ。

第2回(10月26日に開催。講師は大阪大学大学院教授・渥美公秀さん)の応募方法は本紙9月25日に掲載予定

みんなで実現する 西宮の国際交流



西宮市国際交流協会

池田町11-1フレんテ西宮4階
☎(0798)32-8680、32-8676
開館は午前10時～午後6時
(火曜、祝日は休み)

西宮市国際交流協会(NIA)は、市民の皆さんによる国際交流を進めています。ボランティアによる事業や各種講座の開催、機関誌「ふれあい通信」の発行、ホームページの開設や、各国語版のパンフレット発行など多彩な活動を行っています。同協会の主な活動を紹介します。

市民との交流の場づくり

西宮国際交流デー

講演会、外国音楽舞踊、バザール等を一同に実施し、市民の皆さんや同協会賛助会員、ボランティア、外国人市民など多くの参加を得て毎年1回盛大に実施しています。次回は来年1月末実施予定。

地域の国際交流事業を支援

民間団体の国際交流事業に助成

継続的に国際交流活動に取り組む市内の非営利団体が主催する事業に助成します(最高10万円)。希望者は申請してください。詳しくは同協会へ問合せを。

あなたも参加しませんか 各種ボランティア活動

同協会では、多くのボランティアの皆さんが各種の事業を自ら企画、運営にもあたるなど活躍しています。

西宮日本語ボランティアの会

日本語をマンツーマンで教えます(火曜を除く毎日午前10時～午後6時)。教育委員会と連携し外国人の子どもたちへの日本語教育も

NIA地球っ子クラブ

小学生対象のプログラムで、外国人ゲストを招き、ゲームなどを通してゲストの国について学びます(第1か第2土曜午前10時10分から)

食文化交流ボランティア

「食」を通じて日本文化を紹介し、交流を深めます(年4回程度公民館で)

西宮スペイン語ボランティアの会

スペイン語圏のゲストを招きおしゃべりの会や交流イベントを開催しています

Kids Club

外国人籍の親をもつ子どもと保護者のために交流の機会をつくっています(第2月曜午前10時半から)

西宮通訳・翻訳ボランティアの会

(英語のみ)：国際交流事業や外国人の皆さんの生活相談に伴う通訳、生活に役立つ情報を翻訳します。また定例日に相談などに応じます(第2・4水曜の午前、午後)

文化交流ボランティアの会

茶・お花・着付け・折り紙を外国人の人に教えながら交流を深めます(活動は随時、月1回定例会議)

相談ボランティア

外国人市民の生活相談に応じます。今年度は外国人生活ガイドブック作成に取り組みます(月1回程度)

ホームステイ、ホームビジット

今年度にボランティアの皆さんと相談しながら受入事業を立ち上げます

外国人市民の皆さんへの情報提供

「NIAカード」に登録を

外国人市民の皆さんに様々な情報を提供しています。情報提供を希望する人は、同協会のほか、市民課(市役所本庁舎1階)や各支所で「NIAカード」に登録してください。登録者には、機関誌「ふれあい通信」(日本語・英語・中国語・ハンガール)やイベント情報、日本語講座の案内、外国語版市政ニュースを無料で郵送します。

さくらFMで番組放送中

さくらFM(78.7メガヘルツ)で同協会の番組「元気印・国際交流」を放送しています。

送っています。放送時間は、第2・4土曜の午前11時半から20分間。各国の外国人ゲストが、インタビュー形式で日本の生活や活動の様子をお話しています。また、同協会の事業もお知らせします。

阪神米穀のお米



えっさん

■本社 TEL.0798(26)0221(代表)

米づくりの春夏秋冬“夏”

夏が近づくと田んぼは水の管理で大忙し。田植えの後は寒さから稲を守るため、田に水を入れ天気に合わせて水量を調整し、稲を保温します。土の中の根が健康に生育し、養分を十分に吸収出来るように、丈夫な稲が育つように気を配ります。田に植えられた苗はおよそ1週間で土の中にしっかりと新しい根をはり、成長します。気温も水温も上がるにつれ葉の数が増え、茎の根は株分かれをし、新しい茎がつつぎと生まれます。田植えから約2ヶ月くらい、茎が20本前後になるまで水の管理は続きます。

阪神米穀は「おいしいごはんを食べよう県民・国民運動」を応援しています。